

平成15年 6 月24日
原子力安全対策課
(1 5 - 3 3)
< 15時記者発表 >

敦賀発電所 1 号機の定期検査状況について
(制御棒外観目視点検により確認された線状模様)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉；定格出力35.7万kW）は、平成15年 6 月14日から第28回定期検査を実施中であるが、制御棒点検工事^{*1}において、1 本目の制御棒の外観目視点検を実施したところ、6 月24日、制御棒表面のシース（ステンレス材の板：SUS316L）とハフニウム板を固定する部材（SUS316L）の溶接部近傍（シース側）に10箇所のひび割れと思われる線状模様（長さ数センチ）を確認した。

今後、この制御棒と同タイプの新型制御棒^{*2} 4 本についても外観目視点検を実施するとともに、当該制御棒の詳細調査等、今後の対応について検討する。

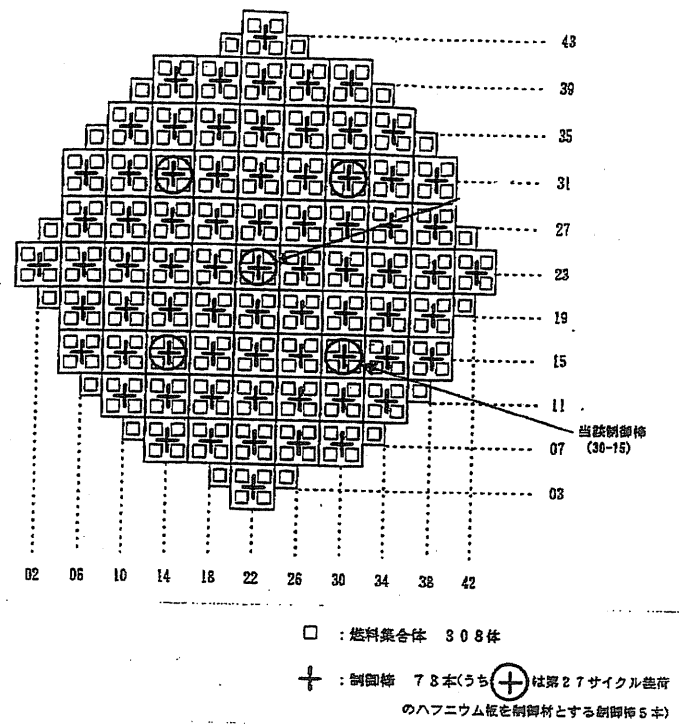
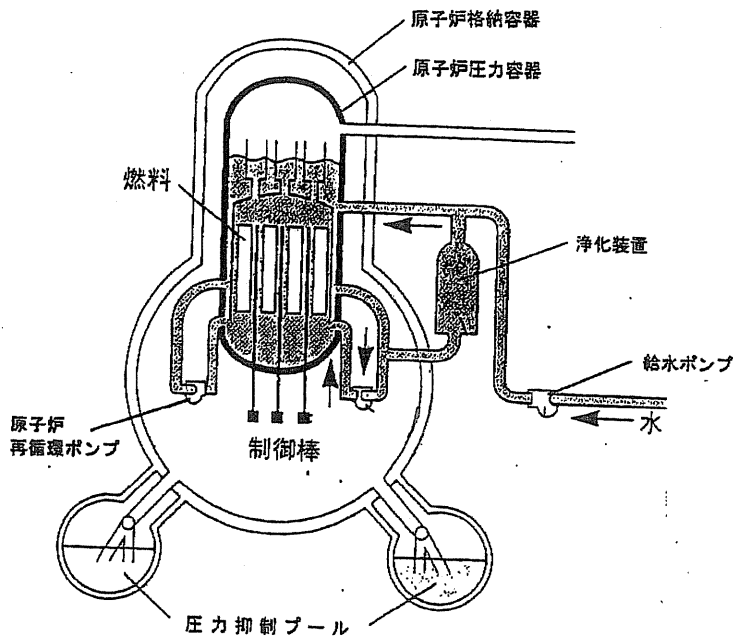
*1：制御棒点検工事

A B B - A T O M社製制御棒のトラブル（平成 9 年10月22日発生）に鑑み、前回定期検査（第27回定期検査）で採用した新型制御棒（ハフニウム板型）の健全性を確認するため、5 本のうち2 本について外観目視点検を予定していた。

*2：新型制御棒

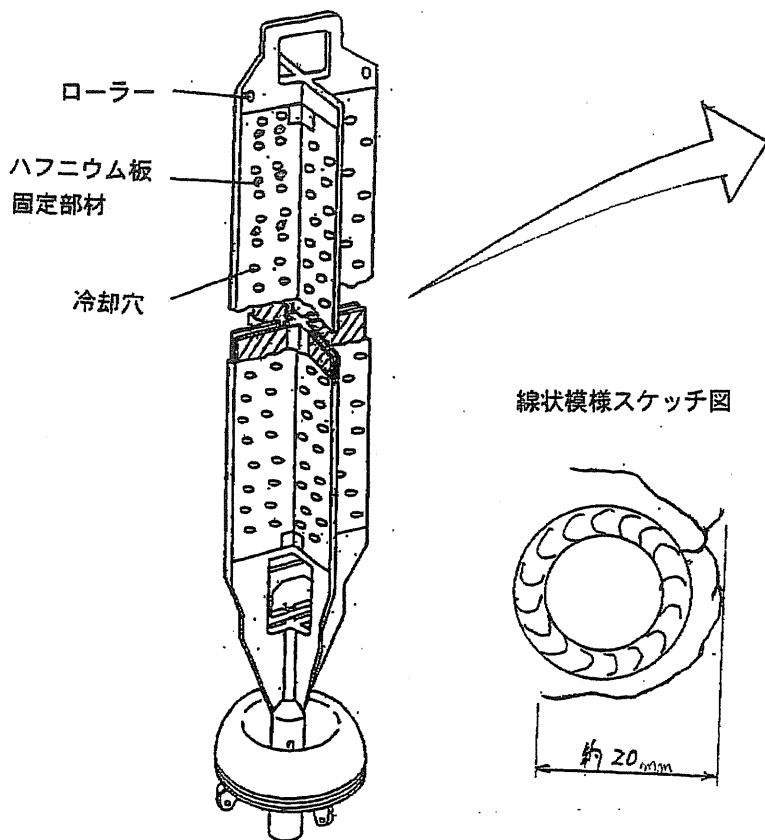
中性子吸収材を従来のボロンカーバイト粉末からハフニウム板に変更することにより、炉内で長期間使用可能となる。敦賀 1 号機では、前回定期検査時に 5 本導入した。

敦賀発電所 1 号機制御棒外観目視点検により 確認された線状模様

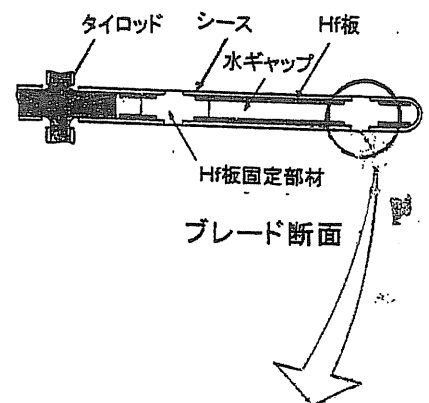


(沸騰水型軽水炉) 概要図

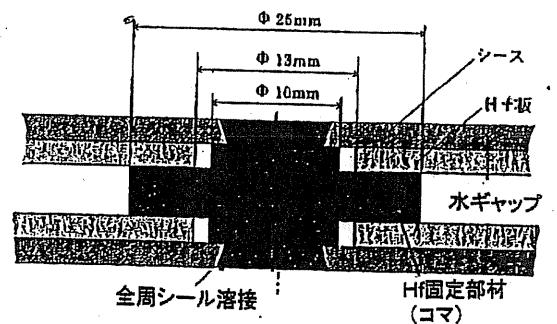
制 御 棒 位 置 図



線状模様スケッチ図



ブレード断面



拡大図

制 御 棒 概 略 図

新型制御棒コマ部説明図